

イリノイ大学派遣留学月例報告書

今月は秋から冬へと衣替えをする月になりました。冬物の防寒具を一通り揃え、これから厳しい冬に向かって行くのだということを、気温の低下とともに実感しています。景色も、今月はじめには真っ赤に紅葉していた木々が、その気温の低下とともに木の葉を地面にばら撒き、落ち葉の絨毯を見せてくれました。動物達も冬支度をしているようで、大学中を走り回っているスクワローと呼ばれるリス達も、今では丸々と太っています。これからの冬眠の準備でしょうか。

さて、今月の報告書は韓国と日本のことについて述べたいと思います。留学すれば、英語の出来ない者同士ですので、日本人と韓国人はすぐに友達になるのではないのでしょうか。私の場合も韓国人の友人が沢山出来ました。そして、その友人達を通して、韓国のこと、韓国から見た日本のことを知ることができました。今回はその新しく知った、韓国のこと、韓国から見た日本のことについてまとめたいと思います。

<内容>

1. 韓国についてのいろいろ

1. 1 韓国人は日本文化が大好き
1. 2 韓国におけるサッカーと野球
1. 3 整形手術は当たり前
1. 4 徴兵制
1. 5 移民と留学
1. 6 北朝鮮との合併について
1. 7 日韓の歴史の問題

2. まとめ ―近くて遠い国―

1. 韓国についてのいろいろ

知っているようで、知らない韓国の文化や韓国人の考え方を紹介します。

1. 1 韓国人は日本文化が大好き

韓国人は日本文化が大好きです。漫画、アニメ、音楽、ドラマ、映画、それにファッションまで、日本の文化が浸透しているようです。これは台湾や他の国でも同じことのようなのです。おそらく、日本における欧米文化のようなものでしょうか。もちろん、アニメはアメリカやその他の国でも大人気で、遊戯王やポケットモンスターはアメリカで大ブレイク中です。

私は文化を輸出することは、国のことを理解してもらおう上で大変有効だと思います。経済の急激な台頭は摩擦を生みますが、文化は丁度その反対の役割を果たすのではないかと感じています。

1. 2 韓国におけるサッカーと野球

日韓と言えばこのサッカーという言葉が出てくる人も多いのではないのでしょうか。ですから一般的には、韓国において最も人気のあるスポーツはサッカーだと思っています。しかし、友人によると韓国でもっとも人気のあるスポーツはサッカーではなく野球であるとのこと。これは日本におけるサッカーと野球の関係に似ているとか。

韓国の野球が日本で紹介される機会はほとんどありませんから、このような誤解が生ま

れたのだと思います。

1. 3 整形手術は当たり前

日本でも最近、整形手術が TV 番組の影響もあって身近になっていることと思いますが、韓国での整形手術について考え方はもっと進んでいます。韓国では女性が整形手術を受けることは当たり前なのだそうです。日本人の友人から教えてもらったのですが、大半の女性は就職活動の時に整形手術を受けるのだそうです。しかし、一方男性で整形手術を受ける人は稀なようです。

たしかに美貌は女性の魅力の一つですが、就職活動のために美貌を得るための手術を受けることがほぼ当り前の世の中という外見至上主義には、私は怖いものを感じてしまいます。化粧や整形で女性は美しくなるでしょうが、職場での能力にまで大きく影響するのでしょうか。勿論自信がもてるようになるということはあるのでしょうけれど、日本人であり、しかも男である私には、就職活動のためというのは理解に苦しみます。

1. 4 徴兵制

韓国に徴兵制があることは有名な話です。北朝鮮に対抗するため、韓国国民の男子は全員約 2 年間の徴兵期間を過ごさなければなりません。多くの若者は徴兵制を望んではいませんが、北朝鮮との関係があるため、しかたがないと思っているようです。そして、若い間に 2 年という期間を徴兵で取られることは、やりたいことが山のようにある僕の友人には、たまらないものであるようです。

もし、日本でも 2 年間の徴兵期間があったなら、私は相当にその期間をもったいなく感じるだろうと思います。世界は決して平和ではない。韓国の友人の悩みを通して、改めて感じたことでした。

1. 5 移民と留学

韓国では今、留学と移民ブームです。両親はお金が十分になくともとにかく海外へ行かせることを考えるそうです。韓国の大学を卒業するより、海外の大学を卒業の方が、国内での就職に有利だからだそうです。また、国内でよい大学に入るためには、そのための教育にお金がかかることも原因のようです。

移民に至っては、TV ショッピングで移民パッケージが売られているほどの加熱振りで、想像できるでしょうか、家電製品や宝石と同じようにカナダへの移民パッケージが売られている番組を。移民が流行しているのも、良い教育を受けるためのようです。また、韓国は日本と同じく大変な不景気で、未来に展望が見出せないことも移民ブームを拍車をかけている要因のようです。

留学は韓国の将来を切り開くために役立つと思いますが、移民については韓国の国力を将来落としてしまうのではないかと感じてしまいます。しかし、国の将来を信じるのが出来なければ、国外へ出て行くことを選択するのは仕方のないことかもしれません。

このことは他人ごとではありません。私の友人の中にも、日本の将来に希望が持てないので、海外へ出て行くことを希望しているものがあります。増え続ける国の借金、若者の世代に不利は年金制度、失われた 10 年と呼ばれる我々学生の人生の半分を占める不況、少子高齢化の問題など、確かに気の思いやられる問題が我々の世代に降りかかってくるのは事実です。もしかすると、10 年後には韓国とおなじく、TV ショッピングで移民パッケージが売りに出される日が来るかもしれません。

1. 6 北朝鮮との合併について

私はほとんどの国民が北朝鮮との緊張状態を解き、朝鮮戦争以前のように一つの国になることを願っているのかと考えていました。しかし、友人の話しによれば、必ずしもそうではないようです。

大きな問題は経済です。韓国は経済的に現在余裕のない状態らしいのですが、それなのに、もし、北朝鮮と合併するようなことになれば、ほぼ間違いなく経済的に支援を強いられます。そしてまた、ほぼ全ての北朝鮮の人々が南側へ押し寄せるのではないかという不安を感じているようです。もしそうなれば、韓国は経済において大変なお荷物を背負い込むことになるのは必死です。

すこし考えてみれば当り前のことですが、合併を望む人、望まない人、それぞれ韓国国民の中にいるようです。

1. 7 日韓の歴史の問題

韓国人は日本文化が大好きで、若者の間で浸透しているようですが、残念ながら日本人が好きかというところではないようです。それは戦前の朝鮮半島を植民地においた歴史があるからです。

韓国人から見た日本について、例えば「日本は未だに植民地支配のことについて謝罪しない」「間違った歴史を教えられている」という厳しい見方をされているようです。

しかし、もうすでに日本は植民地支配について謝罪しているはずですし、歴史についても、「新しい歴史教科書」が日本中の学校で使用されていると思われるために、そういう誤解が生じたのではないかと思います。

専門家でない私には「新しい歴史教科書」が良いか悪いかを評価することは出来ません。それに、日本が韓国に謝罪したのかどうかについても、賠償額の問題等で意見が分かれると思いますので、やはりなんともいえません。しかし、せめて謝罪という言葉を使ったことくらいは知っておいて欲しかったというのが本音です。

我々の世代で日韓が近くて遠い国ではなく、親密な国となるためには、この歴史の問題を乗り越えねばならないのは間違いのないことだと思います。

2. まとめ ー近くて遠い国ー

これまでに、TVや教科書では知ることのできない韓国の文化や考え方について述べてきました。日韓ワールドカップ開催で、韓国のことを身近に感じるようになりはしましたが、実際に韓国のことを知っているかというところどうもそうではないように思います。まだまだお互いに勘違いしていることや知らないこと、歴史の認識などの問題によって、距離は近いけれど、まだまだ遠い国であると思います。

最後に韓国の友人とのこんなエピソードを紹介してまとめたいと思います。ある韓国の友人と食事をしていました。友人は突然こんなことを言い出しました。「俺は今まで日本人が酷い奴等だと思っていた。それは、日韓サッカーの経験でそう思っていた。だけど、実際に接して、ここにいる日本人はみんないい奴だと思った。どうかこれからも良い友達でいて欲しい。」「こちらこそ、よろしくね。」こんな会話を交わし握手をした。

歴史の問題や、お互いに勘違いしていることは多々あるけれど、一人一人の人間として付き合い合えば、そこに特別な壁はないんだと思います。

以上を今月の月例報告とさせていただきます。